

CREATION of NiX

みなさまと共に創る、新たな未来

皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、会社案内 2016 をお届けいたします。我々NiXの存在意義は社会インフラ整備を通じた技術サービスです。この社会貢献を通じ、その対価として報酬をいただき存在を許されております。社是にある「公共投資に創造力」、これは我々の普遍的な役割であり、皆様に対する我々の誓いでもあります。

さて、我々を取り巻く社会資本整備のマーケットは数年前のレベルに戻りつつあり、今後も横ばいで推移するものと想定しております。一方でその内容にも徐々に変化が表れており、膨大な社会資本ストックの老朽化、大型化するそして頻発する災害への施策が急務となっております。このような社会資本整備のマーケットの変化に、人口減少という日本全体の社会問題も加わりました。特に人口減少の影響は地方において顕著であり、我々地方に軸足を置く建設コンサルタントは、このような社会情勢の変化に対し、その技術サービスを高度化する必要性に迫られていると考えます。

そのような状況の中、我々NiXの2016年度は、引き続きストックマネジメント、防災・減災、低炭素社会づくりのコンサルタント重点3事業分野への取組みを継続します。マネジメント事業としての電力事業、産学連携事業、官民連携事業を継続し、従来の建設コンサルタントの枠組みを超えた企業を目指して参ります。この事業において、再生可能エネルギー事業は既に二つの発電所が稼働中で、本年度、804kWの湯谷川小水力発電所の工事に着手いたします。また、産学連携事業としての神戸大学とのゲリラ豪雨予測研究は、本年度システムが本格稼働いたします。また、京都大学との橋梁老朽化研究も引き続き継続いたします。さらには本年度は昨年度開設した東京本社を拡張し、首都圏事業本部として関東エリアと関西エリアの統括を行い、今後の首都圏での旺盛なインフラ整備需要と老朽化対策需要にお応えしていきたいと考えております。

人口減少社会の中での日本経済再生が求められています。我々はそれを支える地方経済の飛躍を担えるよう、そして発注者の皆様により良いサービスをご提供できるよう、努力する所存です。

「みなさまと共に創る、新たな未来」、本年度のNiXもどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 市森 友明

Tomoaki Ichimori

